

さがえ屋通信

お祭りのご縁を紡ぐおせんべい

神無月
2019.10.1

煎餅工房さがえ屋
通販事業部
山形県寒河江市
中央工業団地16
TEL:0120-33-3324
FAX:0120-05-3324

場は3時間まで

①

寒河江神輿會甚句

セエー長月寒河江の
八幡を祀る御社に
粹な若い衆集まって
男の意地を知らさんと
女の意地を知らさんと
印に誇りと名をかけて
長柄に熱き想いのせ
房と房とがぶつかれば
金色鳳羽ばたいて
木遣り甚句が華添えりや
神輿の祭典天下一
市民の祭りがよ
夜に映ゆる

ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
(2019年9月15日)

神事とイベントの融合

寒河江まつりをご紹介!

寒河江が熱く

燃える神輿の祭典

「どっこい、どっこい」「どっこい
そーりや」タンスの音と掛け声、担ぎ
手の熱気、観客の興奮が最高潮に!
第37回を迎える神輿の祭典。19
団体の本神輿と10団体の子供神輿が
参加。東北最大級の神輿イベントと
なっています。今年も地元中学校の
神輿も参加。次の寒河江市を支える若
い力が躍動しました。伝統と熱気溢れ
る寒河江まつりが確実に次世代に引き
継がれている事は本当にうれしく感じ
ました。

寒河江まつりとは

寒河江荘の総鎮守として800年
以上の歴史を持つ寒河江八幡宮。
寒河江八幡宮の例大祭として始まっ
た寒河江の祭りは時代の変化とも
大きく姿を変えてきました。歴史
ある八幡宮の行事と、市民をはじめ
他地域の団体が参加する神輿の祭典。
敵かな中にも、熱気溢れる祭りとなっ
ています。今回青柳は寒河江まつり
の行事を写真に収めてきましたので
ぜひご覧ください!

②

③

④

①市内中心地での神輿の競演。粋な甚句もぜひご覧下さい。②八幡宮氏子神輿
會の渡御。他神輿とは一線を画し宮司さんが先導。③、④神輿会館前での渡御





ネット店青柳の
カメラ片手にご近所旅
寒河江まつり特集
2019.9.14

伝統行事映える

寒河江まつり

寒河江八幡宮流鏑馬

ドドドッ！ドドドッ！馬の走る音、「バシッ！」と的を射る音の迫力！そして観客の歓声！
寒河江八幡宮の流鏑馬（やぶさめ）は約800年の歴史をもつ行事です。古くから同じ場所で行われる流鏑馬会場にいと、何百年も歴史を遡った気分になる事ができます。

究極の馬上テクニク

激しく揺れる馬上でも姿勢を崩さずの射るその美しさ！
的からのまでの所要時間はわずか数秒と言われます。その間に矢をつがえ、的を狙い、矢を放ちます。見事射た瞬間思わず拍手です。
この馬上テクニクは日頃の鍛錬の賜物でしょう。騎士の阿部さんは流鏑馬の技術向上のために他県の流鏑馬大会に何度も参加し腕を磨いております。
その流鏑馬への情熱と努力は素晴らしいものです！

寒河江流鏑馬の特徴

寒河江の流鏑馬の特徴は馬上からの射る『古式流鏑馬』と「一の馬」「二の馬」「三の馬」の三頭の順位で次の年の稲作の作柄を占う全国に一つしかない『作試流鏑馬』が行われる事。どの馬がきても悪い作柄にはなりません。農家さんにはうれしい作試です。



心ふるわす太鼓の響き

臥龍太鼓町めぐり

小気味よい太鼓と鐘のリズム。腹に響く大太鼓の迫力！
臥龍太鼓が町を巡る事で寒河江まつりが盛り上がります。新たな楽曲にも挑戦する、とても積極的な団体です。運営するのは臥龍太鼓保存会、昭和45年寒河江市のニット同業会有志4人により発足しました。

さて、写真右側の金髪の男性どこか見覚えはないですか？
実はやまがたマリアージュのパッケージデザインをされている系作家の佐藤正樹氏です。臥龍太鼓保存会の代表者でもあります。日本の文化、そして寒河江の文化発展のため日々尽力して頂いております。

八幡宮の神楽

観月雅楽会

9月13日。寒河江まつり初日は八幡宮境内において、観月雅楽会が催されました。厳かな雰囲気の中に響く雅楽、優雅な巫女さんの舞がとても幻想的で素敵な夜会でした。



あとがきに代えて（編集 青柳）

秋まつりが盛んなこの季節。うちの奥さんは屋台の唐揚げなどつまみ系の軽食に目がありません。先日お義母さんと一緒に買い物に行った際「醤油風味フランクフルト」を買ってもらいホクホク顔で帰ってきました。夕食時、嬉しそうにフランクフルトを食べていた奥さん。思わず「お母ちゃんも食べる？」と聞いてしまったのです。お義母さんの返事は「食べる」でした。急にあらわした表情になった奥さん。「ちよっとだよ！ちよっとだけだよ！」と訴えます。その迫力にあきれたお義母さんはほんの少しかじって奥さんに返しました。奥さん曰く「まさか「食べる」と言うとは思わなかった。汗。」ピンチを脱した奥さん、平常を取戻し、ホクホク顔でフランクフルトを頬張りました。